

えている。

また、年度始めに町内各公民館から舗装要望が提出され、それに対して町において地区ごとの計画を立てアスファルト舗装を実施していくことにしている。その際に、地区内全体の道路保全状態を調査して、より細かな補修対応に努めたいと考えている。

なお、道路維持補修予算については、今年度舗装原材料費等に13,000千円を計上しており、さらに、1月には補正予算において、きめ細かな交付金事業として、道路補修関連予算15,000千円を計上したので、予算そのものの不足はないものと思っている。

【臨時職員・嘱託職員の処遇について】

問 採用基準と処遇の現状について
答 必要な職種について、広報、回覧、ホームページ等で募集し、筆記試験と面接試験を実施の上、一般的な常識、仕事に対する意欲、理解力、判断力等を有しているかどうかを判定基準として、採用者を決定している。

また、臨時職員の処遇については、主な職種の1日当たりの賃金は、事務職員に準じる職員が6,000円、看護師が7,300円、作業員が作業内容に応じて6,000円から9,500円、保育士が、基本賃金が6,500円で、職務の内容によって200円から300円を加算している。

また、休暇については、年次有給休暇を年間15日付与している他、忌引休暇、夏季休暇、病気休暇等の休暇制度を設けている。

【協働の町づくりについて】

問 協働の町づくりの町長の捉え方と今後の視点について
答 町民と行政が相互理解と信頼のもと、目的を共有し連携・協力して地域の公共的な問題の解決を目指すことであると認識している。

町としては、町民との「協働」による住みよい町づくりを推進するために、町民総ぐるみで取り組むという意識の醸成を図る中で、町民の皆さんが行政活動に主体的に参加していただき、その意見や要望が町政に反映できるシステムづくりを構築したいと考えている。

問 自治基本条例の制定について
答 協働のまちづくりを推進していくには、「自治基本条例」の制定は極めて有効な方法であると考えているので、今後先進的な事例を参考にしながら、「自治基本条例」の制定に向けて検討したいと考えている。

◆横山 二郎 議員

【生命軽視、殺伐社会への対応について】

問 学校教育の分野で考える対応について
答 本町での、学校教育分野での対応については、地域、学校、児童

生徒の実態に即した教育目標を設定し、学力の向上はもとより、互いの命の大切さ、相手を思いやる心など、基本的な習慣を確立させるとともに、社会生活を営む上での規範意識の向上に努めている。

問 社会教育・家庭教育分野での対応について
答 公民館等の施設設備の充実や、生涯学習基盤体制の拡充に努めている。

今後本町としては、長期的視点に立って、地道に、忍耐強く、取り組んでいくことが肝要であり、私たち大人自身も、社会のあるべき姿をしっかりと見据えて、その方向性を、社会全体で子どもたちに指し示すことができるよう、個人も、民間も、行政も含めて、社会総がかりで取り組みを進める必要があると考えている。

【桜峠の一般廃棄物処理場の現状改善について】
問 国道441号線沿いの金網の破れ、傾斜、乱れの改善について
答 金網の傾斜の原因については、パイプフェンスの基礎付近に植栽してある桜の木が成長するにつれ、根元付近が内側に曲がり金網を押し曲げているものである。工法を検討し、対応する。また破損箇所については補修を行う。

問 ゴミ散乱に対する、仕切り、囲いなどの改善策について
答 不燃ごみであるプラスチックについては、他の不燃ごみと合わせて埋立て処分をしている。ナイロン、ビニールのレジ袋等については可燃ごみであるが、不燃ごみと混ぜて投棄されているため冬場の下からの風によって吹き上げられ、飛散する状況となっている。

今後これらが飛散しないよう何らかの措置を講ずるよう検討する。

問 掘り出しのための穴などを残したままショベル機がストップしている。これの作業目的について
答 パッカー車等が作業穴に廃棄物を投棄し、それを重機で一度すくい上げて反対側で容積が少なくなると破砕し、下段より埋立てを行っているものである。また穴については、過去の埋め立て土を現廃棄物の覆土に再利用するために掘削を行った溝であり、再度埋立てを行う。

問 掘り出しのための穴などを残したままショベル機がストップしている。これの作業目的について
答 パッカー車等が作業穴に廃棄物を投棄し、それを重機で一度すくい上げて反対側で容積が少なくなると破砕し、下段より埋立てを行っているものである。また穴については、過去の埋め立て土を現廃棄物の覆土に再利用するために掘削を行った溝であり、再度埋立てを行う。

問 下段から下方斜面の乱れに対する改善策について
答 これについては、先日改善した。

【県と連携した地場産業おこしについて】
問 宇和島市が竹林手入れをしている中、本町の積極的対応について
答 宇和島市の放置竹林の整備事業は、県が緊急雇用創出事業で実施したものである。

この緊急雇用創出事業は、離職を余儀なくされた非正規労働者および中高齢者等に対して、臨時的・